新人看護師教育到達目標

H22.2.10作成

月	時期		到達目標	ねらい
4月初め	職場への適応	不安を抱えた時期	1．職場の環境に慣れる 2．社会人としての基本的態度が身に付くことができる ・身だしなみ・挨拶・遅刻や欠勤をしない 3．病院の概況・組織図・理念看護部の理念・目標が理解できる 4．看護単位の構造が理解できる 5．当院における医療安全体制について理解できる 6．IA報告の必要性と入力方法が理解できる 7．手洗い技術のマスターと経路別予防策の実施ができる	・新しい職場への期待と不安の時期に、組織人・社会人としての自覚をもたせながらも、看護部の雰囲気に溶け込むようにしていきたい
4月末	日勤業務への適応	リアリティショックを感じている時期	1．日常業務の流れが理解できる 2．入院患者の疾患・治療が理解できる 3．基本的な看護が指導のもとに実践できる 日常的生活援助・基本的看護技術・コミュニケーション技術 4．健康の自己管理ができる 5．正しい言葉遣いができる 6．守秘義務を守ることができる	・各部署の業務の流れの速さや患者の病態・治療・看護についていけないうえに、業務に追われて健康管理まで気がまわらない時期。 ・ビジネスマナーの指導と医療従事者としての守秘義務を早期から教育したい
5	夜勤業務への適応		1．救急時の看護が理解できる 2．医療チームの一員としての自覚をもつことができる 3．正確に報告ができる。わからないことが聞ける 4．悩みや思いを共有し方向性を導きだせる 5．看護に関する法律を知っている（保助看法・倫理綱領） 6．患者の療養環境を安全安楽な視点から理解し実施に移すことができる（転倒・転落防止） 7．患者誤認防止ができる 8．正しい注射の実施（確認から実施まで）できる 9．輸液ポンプの準備と管理ができる 10．スタンダードプリコーションの実施ができる 11．マニュアルにそった技術指導	・自分のことで精一杯であり不安や、リアリティショックを抱える時期であることを踏まえ、来月の夜勤業務への準備も含め救急時の看護と医療チームについての教育を取りいれた。また、看護倫理について考える機会を持つことにより、自らを振り返り、患者の尊厳や権利を擁護するということの認識を持ってもらいたい
6			1．割り当てられた業務ができる 2．優先順位を考えて行動できる 3．安全・安楽の配慮ができる 4．夜勤業務の流れが理解できる 5．プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱うことができる 6．記録基準マニュアルを理解することができる	・夜勤業務開始に向けて、複数の患者のケアを優先度を考えて行うことが求められる時期である 看護行為がもたらす患者の生命の危険性を認識するとともにプライバシーの保護について考えることができるようにしたい
7		自立に向けての時期	1．受け持ち患者の状態を把握し基本的ニーズを理解できる 2．看護チームの一員として行動できる 3．患者の反応を見ながらケアができる 4．危険薬の理解ができる 5．インシュリン製剤の理解ができる 6．報告システムの理解と実施・定着ができる 7．施設内の消火設備の位置・避難ルートを理解できる	・夜勤業務を開始し、患者の入院生活について考えることができるようになり、受け持ち患者の情報収集を通して患者の理解につなげ看護チームの一員としての自覚を持たせたい。
9	業務遂行能力充実		1．看護過程の展開が理解できる 2．助言を受けながら、受け持ち看護師の役割を果たすことができる	・看護過程の展開について学習する機会をもち、複数の受け持ち患者に対応するための準備
10			1．6ヶ月を振返り、自らの課題を考えることができる 2．看護業務の経済的側面に注意を払うことができる 3．レスピレーターの理解と管理ができる	・がんばったことは何かを振り返りたい ・コスト面を意識した行動も期待する
11			1．.自己学習する努力ができる 2．介護福祉士・看護補助者の業務が理解できる	・振り返りを通して不足部分や興味のある事への学習意欲を高める ・自立に向かうこの時期に介護福祉士・看護補助者の業務を理解することで看護師の役割を再認識し看護観を磨き、協働する姿勢を身に付けてもらいたい。
12		1年のまとめ時期	1．メンバーシップがとれることできる 2．看護チームのメンバーとして自立したケアができる 3．指導のもとで、救急時の対応ができる 4．防災訓練に参加する	・1年のまとめの時期に入りチームメンバーとしての役割を理解する時期 ・救急時の学習を実践する時期とし一人立ちへの準備を行う
1	一人立ち		1．指導のもとに看護過程の実践ができる 2．他部門とのコミュニケーションがとれる	・メンバーシップがとれリーダー業務への準備時期である他部門との連携について理解し実践できるようにしたい
2			1．一年を振返り2年目に向けての自己目標設定ができる 2．知識・技術の確認ができる 3．倫理的行動について述べることができる 4．正しい注射、ポンプ使用の振り返り（新卒ナースの指導者となる）ができる	・病院、看護部、病棟の目標と個人の目標がその達成活動に参加しているという自覚を持つ ・看護倫理についての1年の振り返りの機会にもしたい
3				